

# 福祉のしごと ふくしごと

誰もが住み慣れた地域で  
安心して住み続けるために

## 誰一人取り残さない 地域社会の実現に向けて

●事業所代表による座談会

福祉のしごとの醍醐味～

人から必要とされること・・・

●データでみる世田谷

●介護の仕事と資格

●有識者インタビュー

雨宮 由紀枝氏(日本女子体育大学名誉教授)

●若者の声

せたがや福社区民学会学生理事・実行委員

●異業種からの声

「フランポネ」マヌー島岡氏(吉本興業)



# 福祉のしごとの醍醐味～

## 人から必要とされること・・・

### 事業所代表による 座談会

事業所代表の皆さんに「福祉のしごとの醍醐味」を語っていただきました。

様々な経験を経て、今がある！紙面ではお伝えしきれない、熱い座談会となりました。



市川 裕太 氏：(株)MIRAI Quality 代表取締役(居宅介護支援、訪問介護、通所介護事業所)

大野 圭介 氏：(社福) 藍 理事長(精神・知的障害者就労支援及び生活支援、就労継続支援B型事業所 共同生活援助事業所 特定相談支援事業所)

熊谷 勇太 氏：(株)HABING 代表取締役(居宅介護・重度訪問介護、重症心身障害者・医療的ケア対応のシェアハウス)

白石 晶紀 氏：(社福)世田谷区社会福祉事業団 特別養護老人ホーム上北沢ホーム施設長

瀧本 葵 氏：ノーツナーシングコーポレーション株式会社 ノーツ訪問看護ステーション管理者

進行：瓜生 律子 世田谷区福祉人材育成・研修センター

座談会ダイジェストを研修センターホームページで公開中！

#### 福祉のしごとの きっかけ

**市川**…大学の福祉学科に通いながら介護を勉強し、ボランティアで関わった法人に就職して、グループホーム開設から関わらせていただき17年。認知症の方の本人の思いを汲み取って、自宅で生活している方に対応するため、令和2年に独立して居宅介護支援事業所を皮切りに、訪問介護、地域密着型デイサービスを立ち上げました。介護保険前の方たちが地域の中で孤立しないようつながる「居場所カフェ」を毎週オープンしています。東京都の認知症介護の従事者向け研修講師もやっています。

**大野**…理事長になって10年になります。大学卒業後、一般企業を3年で辞めて、2年ほどニュージーランドとオーストラリアの農場で働き、褒められることを通

して、仕事の面白さを知りました。日本語を教えた四肢麻痺の子は、シドニーオリンピックで日本語の通訳になるという夢を実現した。海外で様々な刺激を受け、人の役に立ち褒められることは嬉しいという体験をして帰国し、「ありがとう」と言ってもらえる仕事に就こうと、福祉の仕事に就き25年になります。

**熊谷**…中学3年で父が倒れ、中学卒業後、土木作業員や飲食店等で働き4年ほど実家に送りし、弟の高校卒業を機に、北海道から上京しました。50代の脳性麻痺の方の有償ボランティアは、生きるために始めた仕事でした。その方と旅行し



市川 裕太 氏



て、露天風呂に入って、一緒にビールを飲んだら、「こんな楽しいことは初めて」と泣いて喜んでくれ、自分も嬉しく、仕事の楽しさに気づきました。その後、訪問介護事業所を立ち上げ、親亡き後の障害のある方の生活を考え、シェアハウスを設立し運営しています。

**白石**…高校卒業後、バンド活動、内装業、ラーメン屋など色々な仕事を経験して、福祉の仕事を始めました。介護の資格もない中、31歳の時、今の法人に非常勤で採用され20年経ちます。半年位経って仕事に慣れてきたころ、職員として必要とされているのを実感し、仕事のやりがいを感じ、職場の期待に応えたいとの思

いから心を入れ替え、本格的に介護の勉強を始めました。同僚や先輩に支えられ、現在は、特別養護老人ホームの施設長をしています。

**瀧本**…大学卒業後、音楽の仕事をしていたが、ツアー中に高速道路で大事故を起こし、精神的に落ち込み、人としてやり直そうと思って、看護学校を受験したのがきっかけです。新卒の訪問看護師として中規模の会社に採用され、3か月後に管理者になり、事業拡大など成果を上げました。忙しい日々で自分を見失いそうになり、5年後に退職。音楽仲間からバンドのマネージャーに誘われ、今の会社にもパート登録しました。現在はバンド活動と訪問看護事業所の管理者をやっています。

たもあなたらしく、私も私らしく生きる」です。ご利用者のことを第一に考えながら、職員も家族も本人を取り巻く人も自分らしくないと仕事も続かないし、介護も続かない。仕事と自分の時間、プライベートの時間も大切だと思います。介護の仕事はすごく幅広く、地域とのつながりも大切にながら仕事をしています。

**大野**…日本理化学工業の大山元会長から「人間の究極の4つの幸せは、人から愛されること、褒められること、必要とされること、人の役に立つこと、愛以外の3つの幸せは仕事を通して得られる」というお話を聞き、私たちも障害のある方も仕事の意味は、そういうことではないかと思っています。

**熊谷**…障害者総合支援法や介護保険を端から端まで読んで東京都や世田谷区に300回以上通い、東京都の方に「前例はないけど、

違法性はない」と許可され、シェアハウスを開設しました。資本金30万円、3人で始めた会社が、今は従業員が百数十人になり、メディアにも取り上げられています。前例がないので、ルールを自分で作るのがまた、楽しい。人と違うことをするのが好きです。

**白石**…認知症の方の対応も学び、一人では解決できないことも、チームで一つの目標に向かってみんなで力を合わせていくことが必要と常に思っています。施設長として色々勉強しながら、地域へ何が還元できるかと考えながら今、施設運営を心がけています。

**瀧本**…将来は経営者になりたい気持ちがあり、今、新規事業所の立ち上げ準備を進めています。スタッフが安心して長く働けるように、昇給制度も整えています。看護師が本当にやりがいを持って、訪問看護に取り組めるよう努めています。

## ストレス解消は？

**熊谷**…運動が好きで、キックボクシングをしました。が、今はできなくて、お酒の量が増えましたね。会社を創業したので、24時間365日体制で働いていて、休みも基本ないです。でも、健康診断で体はすごく健康です。管理職を育てて、少し仕事を減らせられればと思っています。

**市川**…地域で必要なことは何かと考えながら、地域活動も行っています。自分の思いが実現できるので、仕事はすごく楽しく気持ち的に楽です。独立して5年、



大野 圭介 氏

## 仕事への思い

**市川**…うちの理念は「あな



熊谷 勇太 氏



白石 晶紀 氏

経営が成り立つか、継続していけるかの心配はありますが、従業員も15名で休みやすい環境で自分の思いで仕事をしているので、あまりストレスは感じません。

**大野**…土曜日は子どもと遊ぶ日になっていますが、基本週6日、1日12〜13時間は働いて、夜中の電話対応もしています。職員に仕事を振るのが下手で、自分でやってしまいます。後継者、今の若い方々は管理者も嫌だという人が多く、理事長とか代表取締役になりたがらないですね。僕もお酒がストレス解消の一つです。後継者育成は大きな課題です。

**白石**…もともとストレスを

抱えない性格で、「あまり深く考えない」というのがきつと根っこにあります。プライベートの生活をいかに充実するかを基本に考えているので、仕事では壁にぶち当たりにくいタイプです。今は経営も担っているので中間管理職として業績についてプレッシャーはありますが、職員が働きやすい職場を作ることが役目だと思っています。

**瀧本**…休みがあつたら、20時間ぐらゐ寝ます。今はダブルワークで、実質ほぼ休みはないけど、全然違う仕事なので、リフレッシュできています。

### 伝えたいこと

**熊谷**…今は仕事の仕方かわってきています。マニュアル化も大事ですね。そこに感情とか理念も大切にしたいです。福祉の仕事への

熱い思いは伝えたいです。できれば熱い思いで一生懸命働いてほしいですが、熱すぎると嫌がられますかね。ぜひ、多角的なものの見方で考えてほしい。本当は熱い思いを持って福祉を考えて、一生の仕事として捉えてほしいと思います。が、人生の限られた時間の中で仕事に当てられる時間も限られるので、1日0時間、週0日、福祉に関わると決めたら、そこに真剣になってほしい。どのような働き方をするのかをまず決めて始めてみてはどうかな。福祉は働き方が選べる仕事でもありますから。

**瀧本**…訪問看護は患者さんやご家族に頼りにされ、ありがたうと感謝されるお仕事です。経験のある看護師には、若い看護師と一緒に考え、自らの体験を通して自信が持てるように、サポートしてもらっています。在宅のお看取りの機会も増えて、私たちが看護師としてやらせていただける役割は大きいです。一人ひとりの患者さんにゆっくり関わっていきたいと思われる方は訪問看護を経験していただければと思います。



瀧本 葵 氏

**白石**…介護職員は一番身近にいて、人生の最終章を最期までお手伝いできるので、色々な学びがあります。20年前はマニュアルがなければ作ろう！となりましたが、今は上司に頼りがちです。マニュアルは、現場職員が中心となって作った方が課題、改善策もみえ、現場で本当に必要なことが理解でき役に立ちます。

この仕事はモチベーションを維持することが難しく、ストレスを抱えやすいと言われている職種ですが、プライベートを充実する

のために仕事をするという考えにシフトチェンジしてもいいかなと思います。



瓜生 律子

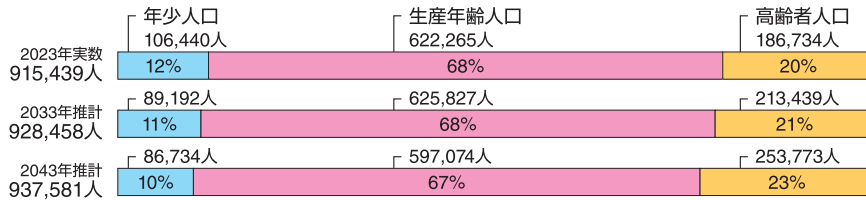
**大野**…福祉の仕事に就く上で、人に興味・関心があることはすごく大事だと思っています。1日の3分の1は働く時間なので、嫌々働くのはもったいない。研修は自己研鑽になるので、色々勉強し吸収して欲しいです。絶対、仕事に活かされます。福祉の仕事は数値化されないので評価されにくいけど、B型事業所は売上など数値化できるので、若者に結構マッチする仕事だと思っています。私はB型事業所のレストランでメニュー開発や、音楽イベントとか楽しみながら企画もしています。面白くないと



# データでみる世田谷

## 世田谷区の人口

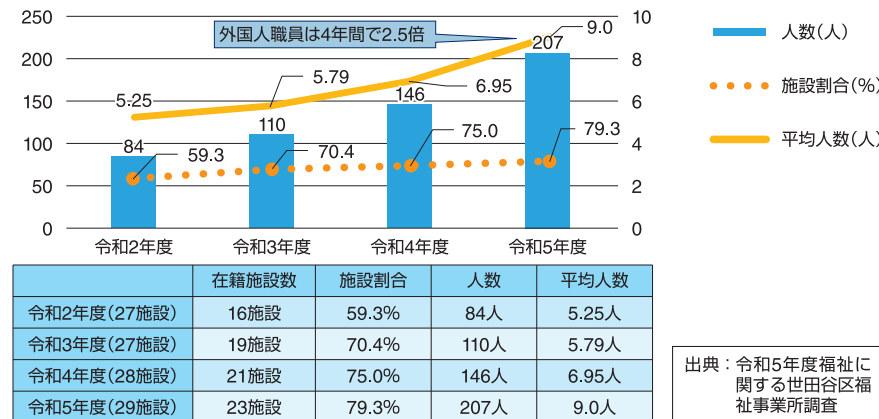
### 年齢階層別人口（各年1月1日）



- 区の総人口は、平成7年以降、令和3年まで26年間増加し続け、920,372人に到達したが、令和4年からは減少に転じ、令和5年は915,439人と減少傾向が続いている。
- 出典：世田谷区人口推計（令和5年7月）

## 福祉人材に関する世田谷区福祉事業所調査 抜粋

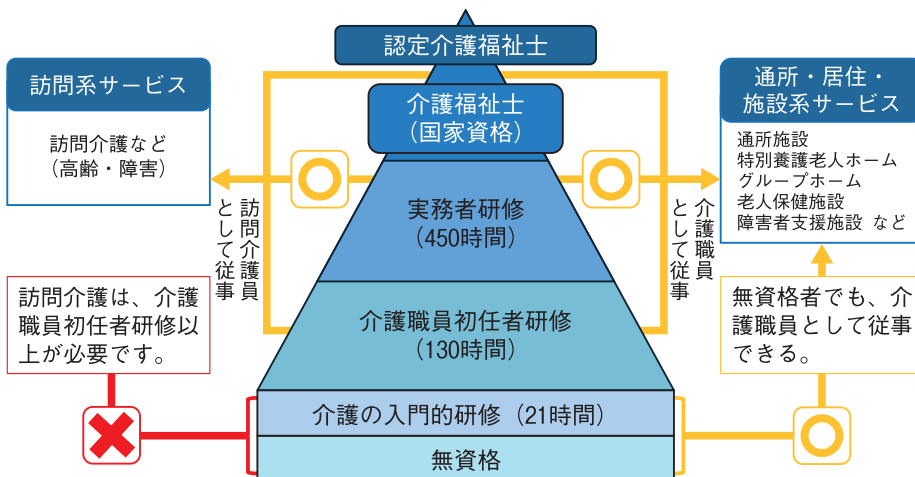
### 特別養護老人ホーム外国人職員在籍者の状況



出典：令和5年度福祉に関する世田谷区福祉事業所調査

## 介護の仕事と資格

- 国家資格：介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保健師、助産師、義肢装具士、臨床心理士など
- 他の資格：介護支援専門員、認知症介護実践者研修、認知症介護指導者養成研修など



福祉の仕事は、資格がなくても従事できますが、資格取得によりキャリアアップできます。

仕事は続きません。自分の得意分野を活かせるのはB型事業所だと思っています。

市川…一番大事なのはコミュニケーションだと思います。元氣な要望がいっぱいある方と接することで、

本人の意思を大事にできる介護職になれると思います。テキパキと働いている同僚を見ると、自分もそうならないと…と、思っているところ、先輩に君のいいところは、相手のペースに合わせられるところと言われ

ました。「君は君でいいよ」と言ってくれた先輩には感謝しています。色々な人から教えてもらって、今があるのだから出会いはすごく大切にしています。

私と一緒に働いてみませんか？ 協力もしたいし、

支えてもいきたいです。

瓜生…皆様、仕事に誇りをもって、熱い情熱を持って、取り組まれています。

福祉の仕事は、色々な経歴から、学びながらステッブアップできます。人から

必要とされ、人の役に立つ仕事です。

研修センターは福祉の仕事相談や各種研修を行っています。是非、ご活用下さい。世田谷で一緒にお仕事しませんか。

せたがや福社區民学会第16回大会で「運動・スポーツでつながる 地域の輪っはっは!」の基調講演をいただいた雨宮先生に地域活動のきっかけやこれからのこと…などをお伺いしました。せたがや福社區民学会報告集は研修センターホームページでご覧いただけます。



## 誰一人取り残さない社会の実現 に向けて ～人との出会いを大切に

日本女子体育大学名誉教授 **雨宮 由紀枝 氏**

インタビュー：世田谷区福祉人材育成・研修センター長 瓜生 律子



**瓜生**…大学教授となられたきっかけは？

**雨宮**…大学で電気工学を学び、エンジニアとして企業で働きました。出産後退職し、しばらくは子育て中心の生活でした。子どもと公園に出かけたときに障害のあるお子さんとの出会いがあり、下の子が幼稚園に入ったころ、近隣の療育施設でボランティア活動を始めました。放送大学で福祉を学ぶうちに、もっと専門的に支援ができればという思いが芽生え、大学院で社会福祉学を専攻。その後、いくつかの非常勤講師を経て、日本女子体育大学の教員になりました。

**瓜生**…大学での取り組みは？

**雨宮**…誰一人取り残さないインクルーシブ教育の担い手を育てるため、**研究や教育、実践活動をやってきました。**

社会福祉や特別支援教育を教える中で、学生たちと一緒に取り組んできた20年でした。近くの障害者施設や区内の特別支援学校、三鷹市の療育施設や中学校の特別支援学級など、あちこち学生とともに交流を続けてきました。子どもたちは、バク転や人間ピラミッドを披露する学生たちが大好きで大喜び。先生方も子どもたちが楽しんでるのを見て、すごく応援してくれました。学生が作った運動プログラムにアドバース、フィードバックまでいただき、本当に学びが深くありがたかったです。

「よく来てくれた、ありがとう」と

**歓迎され、学生たちも生き生きと参加し、活動は活気がありました。**

**瓜生**…活動を始めるきっかけは？

**雨宮**…やりたい気持ちはあるけど、一歩踏み出すには最初にちよつと背中を押してくれる人がいるのも大事です。

大学には地域からのオーダーは割と多く、たくさんの方のチャンスをいただきました。人工呼吸器ユーザーのお子さんから「女子大のお姉さんとお友達になりたい」とお手紙をいただき、10年以上交流が続いています。また、視覚障害のある方から「ブラインドマラソンのお手伝いをして欲しい」と依頼があったときは、陸上部のランナーが応えてくれました。学生たちに声をかけると、皆、すごく協力的でした。

**瓜生**…活動の継続は？

**雨宮**…3～5人位のグループで仲間がいると、楽しく助け合いながら続けられます。活動の範囲も自転車で10～15分位がいいですね。放課後等デイサービスのボランティアから有給の仕事になったり、高齢者の運動支援を行った特養ホームに就職し、今や中堅職員になった方もいます。鳥山の精神科病棟に繋がったグループもありました。学生たちは、活動を通して、高齢者や障害のある方が身近になるとともに、人としても成長したように思います。

コロナ禍後、ボランティア活動も減ってきました。インクルーシブ教育

と謳いながら国連の改善勧告を受けるほどの現状を、なんとか変えたいと願っています。

**瓜生**…若い人たちに伝えたいこと

**雨宮**…障害者とかかわりを持っていないと、「障害がある人が怖い」と、療育施設に行く前の日、眠れないという学生がいました。でも、会った途端にキャッキヤ言って遊び出します。やっぱり知りあうことは大切ですね。

若い方には、「ぜひ、色々な方と出会ってください」とお伝えしたいです。精神障害の方々に出会った学生は、優しい人が多かったと言っています。是非、色々なところへ出かけて、多様な出会いを楽しみながら視野を広げてください。

**瓜生**…日本女子体育大学を退職されて

**雨宮**…教員の道を選び、若い人たちが地域の方たちに出会えて幸せでした。私たちを温かく育ててくださったすべての方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。

今は、新しい大学で障害のある学生を支援する仕事をしています。フルタイムで働きつつ、大学院で医療福祉ジャーナリズムを学んでいます。誰一人取り残さない社会の実現に、ジャーナリズムの力を活かせればと思います。

**瓜生**…学び続けていらっしやる雨宮先生、素敵です！引き続き活躍ください。



せたがや福祉区民学会 第16回大会「笑顔の輪を広げるみんなのスポーツ」をテーマに学生理事・実行委員を中心にワークショップを開催しました。ワークショップには32人の方に参加いただき、活発な意見交換ができました。準備・進行に携わった、学生理事(★)・実行委員(●)に感想を伺いました。

## 神崎野恵 (★昭和女子大学)

スポーツを通し人のつながりや日々の楽しさが得られる効果を知ることができました。スポーツに限らず様々な可能性に目を向けるのも大切だと感じました。

## 定方美穂 (★昭和女子大学)

関わりのなかった「スポーツ」の分野について考えるとともに他の大学の方と意見交換ができた貴重な時間となりました。

## 小澤保菜美 (★日本大学文理学部)

様々な意見を知ることができ、より世界を広げることができました。学んだことを活かし、福祉の輪を広げられたら良いと思います。

## 小林明日香 (●駒澤大学)

初めてのワークショップの参加で、非常に緊張していましたが、楽しく有意義な時間となりました。

## 平本寧音 (●駒澤大学)

スポーツの視点から人と人とのつ

ながりを考えることができ、今まで自分の中になかった新たな気づきを得ることができました。

## 藤田優翔 (●日本大学文理学部)

本日は自身が経験したことがない障がいのある方のためのイベントや社交ダンスを一から作った方のお話をきいて、大変勉強になりました。

## 三沢勝斗 (●日本大学文理学部)

普段、私が知ることのない地域へのアプローチを知ることができ、地域支援への理解を深めることができ、自分の視野が広がりました。

## 雷霆 (●日本大学文理学部)

他大学の学生と意見を交換することで、多様な視点から福祉の課題が活用できます。今後多様な人々と関わり、学びを広げたいと感じました。

## 藤澤日菜 (●東京都市大学)

今回、ワークショップへの参加は

初めてでしたが、様々な学部の方と意見交換ができ、多角的な視点を持つきっかけになりました。

## 藤原優希 (●東京都市大学)

当初は深い話し合いができるか不安でしたが、30分間という中で自身の経験から地域でできることまで話が発展でき、充実した時間になりました。

## 齋藤愛伽 (●日本体育大学)

福祉について、保育やスポーツを中心に専攻している人達と意見交換することができ、いつもと違う刺激をもらうことができました。

## 中村紗彩 (●日本体育大学)

それぞれの経験や感じたこと、学んだことを発表しました。他大学の人と関わるのではないので、多くの人とお話できてよかったです。

## 篠崎杏 (●東京農業大学)

昨年、学生ボランティアとして参加し、福祉について考えることが増え、視点が変わり、今大会では学生実行委員として様々な方と交流し学び多い時間でした。

## 遠藤裕斗 (●東京農業大学)

知的障がいの兄がいますが、同世代の福祉を真剣に考えている人に

出会えたことは励みになる貴重な経験でした。この行事を絶えさせないよう携わりたいです。

## 麻生有倅 (●日本女子体育大学)

講演の内容にそったテーマで他大学の方々と話し合い、大学内では出ないような意見や視点からの話を聞くことができて学びになりました。

## 伊藤未桜 (●日本女子体育大学)

スポーツ・福祉・農業の様々な視点から運動やスポーツを捉え、障がいのある方と健常者が運動やスポーツを通じて交流や相互理解につながれば良いと思います。



## 異業種 からの声

# 笑いで日本を元気に！ 漫才コンビ「フランポネ」 マヌー島岡氏（吉本興業）



誰もが「笑い」を享受できるソーシャルビジネス、障害者や外国人と一緒に「お笑い」をやったら、みんなが笑顔になります。日本に住む全ての人が笑顔になれば、日本全体が元気になり、好景気になる！日本に住んでいるマイノリティ（障害のある方や外国人）が参加する漫才大会D-1グランプリを開催し、その収益を当事者に還元するソーシャルビジネスを実施しています。※D-1のD：Diversity（多様性）

## 【障害者が「お笑い」？】

障害のある方が漫才を披露！やさしい日本語で漫才作成講座を実施し、障害のある方でも簡単に、シンプルだが基本を押さえた漫才を作成することが可能となる。その背景として国際夫婦漫才コンビ「フランポネ」のシラちゃんはスイス人で、日本語が完璧でないことから2019年より外国人向けに「漫才で覚える日本語講座」を開始した。

日本語ができない外国人を対象にした講座のため、簡単に漫才作成ができる…と、障害者就労支援施設を紹介され、2021年から横浜市にある障害者就労支援施設で「漫才作成講座」を実施したところ、ダウン症や知的障害のある方々の漫才ができた。その経験から障害のある方の漫才作成講座を本格的に開始した。

2002年ベルギーアントワープ大学大学院にて経済学修士取得。2012年までベルギーの日系企業勤務。スイス人のシラちゃんと結婚。ヨーロッパでは社会保障の仕組みを学ぶとともに、アジア人に対する偏見や差別を経験。日本に帰国、総合商社で勤務後、2018年吉本興業芸人養成所 NSCに入所。2019年国際夫婦漫才コンビ「フランポネ」が吉本興業所属芸人となる。「お笑いを通じた社会課題の解決」という日本で一番面白いソーシャルビジネスを実践する。2020年秋、日本人を対象にした「漫才で覚える英語、フランス語、スペイン語」を開始。2022年任意団体「チーム フランポネ」発足

★5分で分かる漫才作成講座はこちら：<https://www.youtube.com/watch?v=2K0bilutGCK>

2023年には日本ダウン症協会から直接、依頼を受け、ダウン症の日（3月21日）に日本で初のダウン症の方による漫才大会を開催することとなった。このように障害のある方や外国人との交流機会を持つことで相互理解を促進させることができ、これはSDGsを踏まえた地域における人々の交流促進に資するものであると証明された。

## 【世田谷区では？】

2024年6月、世田谷まちづくりファンドに採択され、世田谷区にある障害者就労支援施設や就労移行支援施設で漫才作成講座を行っている。

近い将来、世田谷区に住む障害のある方や外国人が参加する世田谷バリアフリー漫才 D-1 グランプリを開催します。

研修センターは、福祉人材の確保・育成・定着支援を総合的に推進しています。福祉の仕事の入門講座やキャリアアップなどのさまざまな相談、専門性を高める研修を行っています。福祉の仕事のご相談は、研修センターへお寄せください。



## 社会福祉法人 世田谷区社会福祉事業団 世田谷区福祉人材育成・研修センター

〒156-0043 東京都世田谷区松原 6-37-10  
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ 1 階  
電話 03-6379-4280 FAX 03-6379-4281  
URL <http://www.setagaya-jinzai.jp>  
受付時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15



アクセス 小田急線「梅ヶ丘」駅北口 徒歩 5分  
小田急線「豪徳寺」駅 徒歩 8分  
東急世田谷線「山下」駅 徒歩 14分  
小田急バス「松原」 徒歩 1分

